

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2026年2月28日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

パロマ瑞穂アリーナ 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

一般社団法人愛知ホッケー協会 永井 東一、安川 楽（他4名）

5 活動内容

3回目の競技体験を実施しました。まずは、全員で準備体操とランニングを行い、試合を行うための注意点を聞きました。その後6チームに分かれ、講師の指導のもと、パスやドリブルの練習、講師とのウォーミングアップマッチをしました。

試合は2面を使用して行い、まず3チームによる予選リーグを行い、その後リーグの上位チームによる決勝トーナメントを行いました。試合が進むにつれて動きが良くなり、パスが繋がったり、ドリブルで相手を抜いたりすることができるようになりました。また、チーム内で声掛けをする場面が増え、個人プレーではなく、チームで戦う姿勢が見られるようになりました。

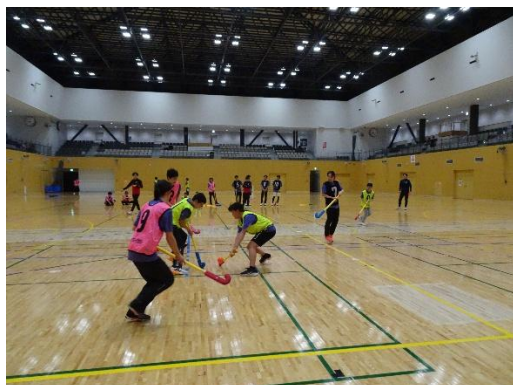
最後に、アカデミー生と講師による記念撮影を行い、今年度最後の競技体験プログラムを締めくくりました。



プレーの注意点を聞く様子



ウォーミングアップマッチ



白熱したプレーの様子



試合後の記念撮影

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2026年2月14日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市千種スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

一般社団法人愛知ホッケー協会 永井 東一、安川 楽（他3名）

5 活動内容

2回目の競技体験を実施しました。今回の目標は、「相手に応じて、判断し、プレーができるようになること」でした。はじめのウォーミングアップでは、講師の動きを見ながら、動きを模倣する練習を行いました。速い講師の動きを模倣するのに苦戦しました。

次に、講師が指示した方向へ移動するドリブル（オープンドリブル、インディアドリブル）練習を行いました。指示された方向を即時に判断し、移動するのは難しかったですが、徐々に正確に判断し、素早く移動できるようになりました。

次に、1対1でのディフェンスのポジショニング練習をしました。基本は、オフenseの右肩とゴールを結ぶライン上にディフェンスの右肩を位置することが大事であると学びました。

最後に、3対1、2対1の状況からのシュート練習をしました。ディフェンスの状況に応じて、ノーマークの味方にパスしたり、ドリブルしたりして、最後はシュートしました。実際に相手がいると判断がより難しくなりましたが、的確に判断し、シュートしていました。ゴールに鋭いシュートが決まると、歓声上がる場面もありました。

3回目となる次回の体験は、ゲーム中心となります。これまで学んだ技術等を生かし、楽しいゲームとしましょう。



講師の動きを模倣



ドリブル練習



ディフェンス練習



シュート練習

競技体験プログラム【ジュニア】活動報告

1 日時

2026年1月24日（土） 18時25分から20時30分まで

2 会場

名古屋市東スポーツセンター 第1競技場

3 プログラム名

ホッケー

4 講師（敬称略）

一般社団法人愛知ホッケー協会 永井 東一、安川 楽（他4名）

5 活動内容

ホッケー1回目の競技体験を実施しました。始めに、ホッケー競技についての説明を受けた後、現役選手によるデモンストレーションを見学しました。その後、二人組でパス練習（プッシュ）をしました。アカデミー生は、指導者からパスをする際にボールをスティックに接触させた状態から味方のいる方向に押し出すこと、足を一步踏み込むことが大切であると助言を受け、徐々に上手にパスを出すことができるようになりました。

続いて、オープンドリブルとインディアドリブルの練習をしました。片面しか使えないスティックに苦戦しながらも、ボールを前に進めるためには左手首をうまく使うことが大切であることを学びました。

最後に、シュート練習をしました。今回の競技体験をとおして基本的な動作をしっかりと学ぶことができました。



指導者の方々



二人組でのパス練習



インディアドリブルの練習



シュート練習